

平成 29 年度 砺波市行政改革庁内会議

提案型事業評価検討部会 報告書

行政改革庁内会議に設置された提案型事業評価検討部会では、平成 29 年度において、行政改革推進本部で決定された当該年度の検討対象事業（5 件）について、調査・検討を行った。

1 調査・検討

検討に当たっては、すべての事業について、所管課から提出された詳細調書に基づいて協議し、「取組年度」、「今後の方向性」及び「所見（意見）」を中心に調査・検討し、その結果について、以下のとおり取りまとめた。

2 取組年度

- (1) 平成 30 年度から取り組むもの 5 件

3 今後の方向性及び所見（取組年度別）

各事業に対する今後の方向性及び所見については、次のとおり。

(1) 平成 30 年度から取り組むもの 5 件

ア 砺波市政バス（H29 予算：304 千円）

【今後の方向性】 縮 小

【所 見】

平成 30 年度から「企画指定型」の運行のみとし、「企画募集型」は廃止する。

なお、「企画指定型」の内容は利用実績を踏まえたうえで見直し、参加者の増加を図る。

イ 地域包括支援センター（直営）運営事業（H29 予算：51,518 千円）

【今後の方向性】 改 善

【所 見】

保健師等が、主任介護支援専門員の資格を取得できるよう、計画的な人事異動に努める。

なお、正規職員で主任介護支援専門員の資格を有する者が欠員となる場合は、嘱託職員で主任介護支援専門員の資格を有する者に手当を支給し、人員を確保する。

また、資格の取得及び更新に要する費用については、配属先に

関わらず平成30年度から公費で負担する。

上記の主任介護支援専門員（嘱託職員）の手当の額や支給時期及び正規職員の資格の取得や更新に要する費用の公費負担に関する予算措置など、詳細については担当課で検討を進める。

ウ 中山間地域農業活性化対策事業（湯山サブセンターの維持管理）

（H29 予算：300 千円）

【今後の方向性】 廃止

【所見】

平成35年度から農村環境改善施設を廃止する方向で、地元と協議を進める。

また、廃止後の施設活用については、投票所として使用していることや、土砂災害警戒区域であることに留意しながら、担当課等で検討を進める。

エ 小・中学校卒業記念品贈呈（H29 予算：1,379 千円）

【今後の方向性】 廃止

【所見】

小学校の卒業は、義務教育の通過点であることや、他市の状況を踏まえ、平成30年度から小学校の卒業記念品の贈呈は廃止する方向とし、「ふるさと」への愛着形成のため、副教材の充実を図るなど代替案も併せて担当課で検討を進める。

また、中学校の記念品については、印鑑ケースが伝統工芸品（庄川挽物）であることもあり、段階的な廃止を含めて担当課で検討を進める。

オ チューリップフェア絵画展（H29 予算：200 千円）

【今後の方向性】 改善

【所見】

平成30年度から（公財）砺波市花と緑と文化の財団の自主事業として実施するよう、財団と準備を進める。